健康経営の取り組み

アキレスは、従業員が健康を増進して笑顔があふれる会社を目指し、健康経営を推進しています。

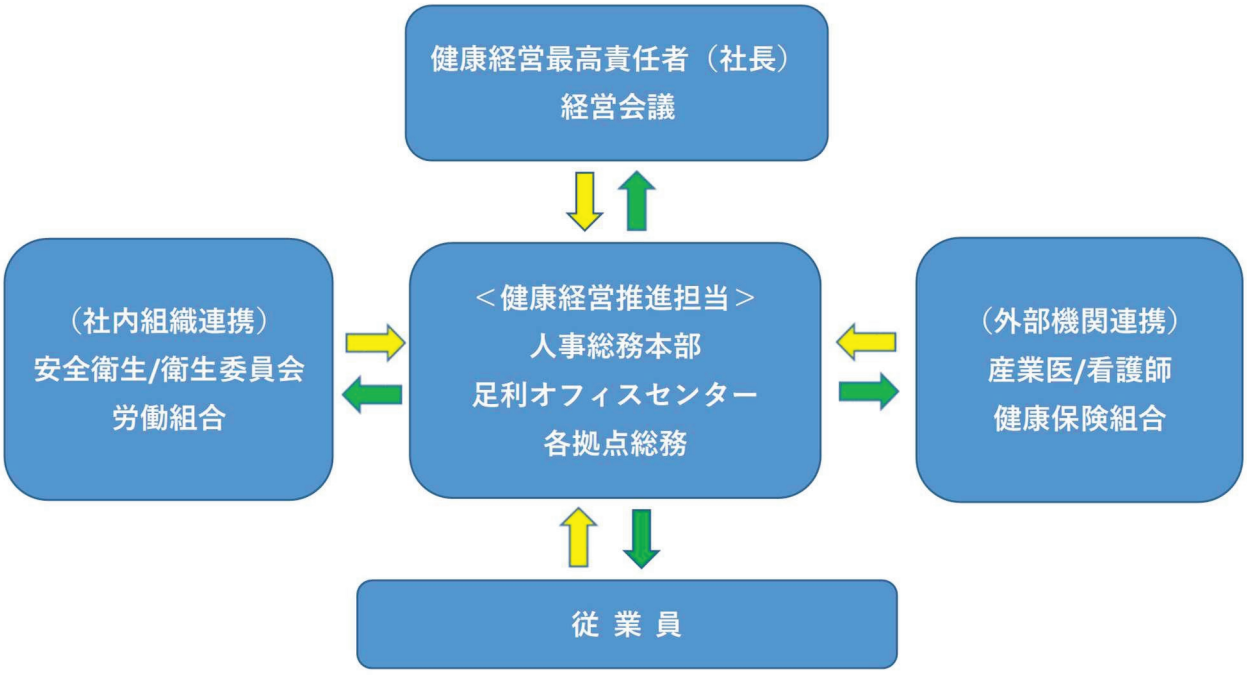
健 康 経 営 宣 言

「社会との共生」と「顧客起点」を共に重要な価値と位置づけ、持続可能な社会の実現に貢献し、社会全体の幸福度を高めていくという企業理念のもと、従業員一人ひとりを最も重要な資産と捉え、健康経営を推進します。
心身の健康増進と働きがいの向上を通じて、生産性・創造性・競争力を高め、企業価値向上の実現を支えます。誰もが長期的に安心して働くことができ、やりがいを感じられる環境づくりに取り組んでまいります。

2026年6月30日
アキレス株式会社
代表取締役社長　日景　一郎

健康経営推進体制

代表取締役社長を最高責任者とし、健康保険組合や産業保健スタッフ等と連携して健康経営を推進しています。健康経営推進会議で健康経営に関する目標、方針、施策の立案を協議し、決定した内容は経営会議に報告等のうえ（安全）衛生委員会等で共有し、各事業場で健康経営を展開しています。

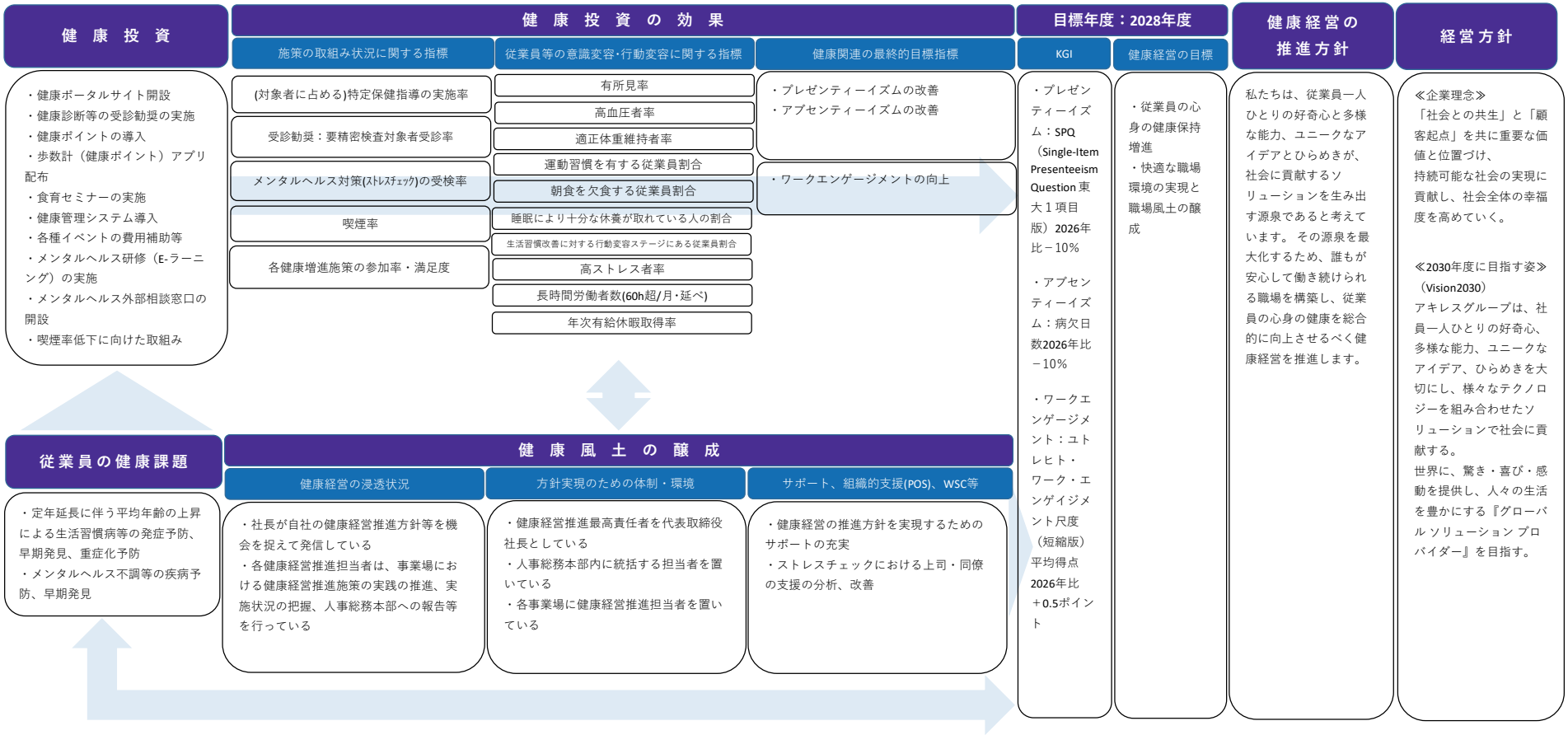


健康経営の課題と実績

健康投資と健康課題等のつながりを「健康経営戦略マップ」にまとめています。

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標として、「特定保健指導の実施率」等と「有所見率」等を掲げており、これらが改善することで「プレゼンティーイズム・アブセンティーイズムの改善」「ワークエンゲージメントの向上」につなげ、経営課題である組織の生産性向上による会社の持続的成長の実現を目指していきます。

2026アキレス健康経営戦略マップ



※プレゼンティーイズム：出勤しているにもかかわらず、心身の不調によって本来の業務パフォーマンスや生産性が低下している状態

※※アブセンティーイズム：健康問題や心身の不調を理由に欠勤や休業をしている状態

（2026 年 9 月作成）

健康経営の主な取組み

従来からの健康管理・増進施策に加え、健康ポータルサイトを開設して健康情報等の発信をするとともに、

・従業員が日々の健康づくりに楽しく、継続して取り組めるよう、健康ポイントサービスを導入しました。

・健診結果等の従業員の健康情報を一元管理し、健康状態や組織の健康課題を可視化する健康管理システムを導入。蓄積したデータの分析を通じて課題を把握し、従業員の健康づくりに向けた施策の検討・推進に活用しています。

健康経営に関連する目標指標とその実績値

カテゴリー	項目	実績		2026年度目標
		2024年	2025年	
健康診断	特定保健指導の実施率	27.2%	27.0%	35.0%
	有所見率	－	84.8%	75.0%
	適正体重維持者率	59.8%	60.0%	65.0%
	（事後措置）精密検査受診率	－	70.9%	80.0%
	高血圧者率	15.7%	13.9%	12.5%
生活習慣	喫煙率	26.7%	27.0%	26.5%
	運動習慣を有する人の割合	－	33.0%	36.0%
	朝食を欠食する従業員割合	－	21.0%	19.0%
	睡眠により十分な休養が取れている人の割合	－	62.0%	65.0%
	生活習慣改善に対する行動変容ステージにある従業員割合	－	75.7%	80.0%
メンタルヘルス	ストレスチェック受検率	87.5%	88.7%	89.5%
	高ストレス者率	－	14.6%	14.0%
生産性向上	プレゼンティーイズム　※1	－	－	16% ※測定値
	アブセンティーイズム ※2	－	－	3.7日 ※測定値
	ワークエンゲージメント　※3	－	－	2.4点 ※測定値

※1 SPQ（Single-Item Presenteeism Question 東大１項目版）　※2 従業員アンケートにて欠勤日数（年）を確認　※3 ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度（短縮版）